

1. **銅鏡模型**…弥生～古墳時代にかけて使われた銅鏡の見本。岐阜市の龍門寺1号墳出土「三角縁天象日月銘獣文帯四神四獣鏡」をモデルにしています。鋳鉄製で、表裏とも塗装してあり、映すことはできません。
2. **縄文土器模型**…学校教材用模型で、高さ15cm。粘土板、施文具（模様をつける道具）を利用する際に、見本として利用すると良いでしょう。
3. **武人埴輪模型**…学校教材用模型で、高さ26cm。かぶと、短甲、刀を装着しています。
4. **石包丁模型**…弥生文化を代表する石器の一種です。出土品には2つの穴があいていることから、そこにひもを通して輪にし、指をかけてにぎり、親指で稲穂を押さえて摘んで収穫したと考えられています。
5. **高床式倉庫模型**…8本の柱にそれぞれねずみ返しを備え、木製のはしごを使用した切妻屋根の倉庫です。
6. **弥生のムラ①**…稲の収穫場面で、石包丁を使っているイラストです。
7. **弥生のムラ②**…高床式倉庫のまわりで、脱穀や袋詰め、倉庫への搬入を描いたイラストです。



2. 縄文土器模型



1. 銅鏡模型



3. 武人埴輪模型



4. 石包丁模型



5. 高床式倉庫模型



6. 弥生のムラ①



7. 弥生のムラ②